

予算決算常任委員長報告

令和2年3月18日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案14件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る3月9日から13日及び16日に委員会を開催し、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

また、13日には、総務、教育民生、産業建設の各分科会においてそれぞれ選定した重点項目について担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第1号「令和2年度三次市一般会計予算(案)」外議案11件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

次に、議案第2号「令和2年度三次市国民健康保険特別会計予算(案)」外議案1件については、審査の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

総務分科会からは、事業の執行に際しては、結果と成果は適宜、報告されたい。また、その分析を基に毎年の予算編成時には、より成果が上がるよう、事業の改善に努められたい。

教育民生分科会からは、こども発達支援センター運営事業については、児童と保護者の不安軽減となるよう、児童と保護者の心に寄り添った事業運営に取り組まれたい。

病院施設整備事業については、市立三次中央病院が建築から25年を経過していることから、建て替えの可能性も視野に入れる等、長期的視点に立ち市民が利用しやすい病院となるよう今後も取り組まれたい。

個々の学び支援事業については、少人数学級から個々の指導に重点を置く方針に変更するとのことであるが、こどもたちの学びに影響を与えないようにしていただき、今後の指導に方針を最大限活かすこととなるよう取り組まれたい。

学校規模適正化検討事業については、今後の児童生徒数の推移のデータ等の検

討材料を検討委員会にしっかりと資料等を基に説明するよう取り組まれたい。また、議会及び市民に対し、検討委員会の協議内容等、情報公開を行うよう取り組まれたい。

産業建設分科会からは、プレミアム付商品券「三次藩札」発行事業については、三次藩札の使われ方の実態を把握し、事業に対して市民から不信感を抱かれることが無いよう執行に努められたい。

内水対策事業（畠敷・願万地地区）については、同程度の効果が見込まれる他の手法がある場合には経費の比較を行った後、計画の前倒等スピード感をもって取り組まれたい。

水道施設整備事業については、条件不利地域における加入者拡大のため、一般会計においても補助制度等負担軽減策を検討されたい。

以上、述べました事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。